

中村洋子 バッハ インヴェンション・アナリーゼ講座



第9回 「インヴェンション&シンフォニア各第9番 f-Moll」

～曲集の頂点をなす9番の「受難のモチーフ」は、どこから来たか～

日時:2012年10月31日(水) 10:00 ~ 12:30

会場:カワイ名古屋2F コンサートサロン「ブルー」

受講料: カワイ講師・音研会 ¥2,500
会員(楽譜・PTNA・JPTA・ショパン協会・Miyoshi Net) ¥3,000
一般 ¥3,500

バッハ・インヴェンション講座も、三分の二の道のりに、さしかかりました。
西洋クラシック音楽では、曲の三分の二のところに、クライマックスを置くことが、よくあります。
ソナタ形式ですと、ちょうど、展開部が終わり、再現部に入るところです。このインヴェンション、シンフォニアとも、バッハは、曲集としての大きなクライマックスを、この9番に置いている、と私は考えます。

バッハの受難曲では、キリストが受難する場面が、頂点となります。その受難を象徴する9番と、その前後の8番、10番とが、どのような関係で、結ばれているか、詳しく、お話いたします。

インヴェンション9番は、「嘆き(エスプレッシオーヴォ)の歌」。
シンフォニア9番は、印象的な「半音階」のバスに、歩行の音形がかぶさり、沈痛に曲が始まります。

口短調ミサ曲や、平均律クラヴィア曲集1巻24番、イタリアの作曲家・アレサンドロ・マルチェッロ Alessandro Marcello の Oboe Concerto in d-Moll 「オーボエ協奏曲」との、親密な関係についても、お話いたします。

9番は深い内容ですので、“子どもに与えるには早すぎる”というのは、大きな間違いです。

宗教的な意識の有無を問わず、バッハの音楽は、人類共通の、普遍の感情を表現しています。
誰が弾いても、美しく深く、音楽の真の喜びを、味わうことができます。人類にとって、かけがえのない宝物なのです。

レッスンを始めて間もないお子様でも、無理なく弾けるような、指導方法や、バッハのカンタービレ奏法とは、何か、ソルフェージュに、どう応用するか・・・などを、分かりやすく、ご説明いたします。

曲の構成を詳しく理解することによって、バッハを弾くことが、さらに喜びに満ちたものとなり、自信をもって弾くことが、可能になります。

講師: 作曲家 中村 洋子

東京芸術大学作曲科卒。作曲を故池内友次郎氏などに師事。日本作曲家協議会・会員。ピアノ、チェロ、室内楽など作品多数。

2003年～05年:アリオ音楽財団(東京の夏音楽祭)で新作を発表。

07年:自作品「無伴奏チェロ組曲第1番」などをチェロの巨匠W.ベッチャー氏が演奏したCD「W.ベッチャー日本を弾く」を発表。

08年:CD「龍笛&ピアノのためのデュオ」、CD「ソプラノとギター」の「星の林に月の船」を発表。

08～09年:「バッハのインヴェンション・アナリーゼ講座」全15回を開催。

09年10月:「無伴奏チェロ組曲第2番」が、W.ベッチャー氏により、ドイツ・マンハイムで初演される。

10年:「無伴奏チェロ組曲第1番」が、ベルリンのリース&エルラー社 Ries & Erler Berlin から出版される。

CD「無伴奏チェロ組曲第3番、2番」W.ベッチャー演奏を発表。

「レーゲンボーゲン・チェロトリオス(虹のチェロ三重奏曲集)」が、ドイツ・ドルトムントのハウケハック社 Musikverlag Hauke Hack社から出版される。

10年1月～12年6月:バッハ・平均律クラヴィア曲集第1巻の全曲アナリーゼ講座を、カワイ表参道で開催。

2011年4月:「10 Duette für 2 Violoncelli チェロ二重奏のため の10の曲集」が、ドイツの「Ries & Erler Berlin、リース&エアラー社」から出版される。

スイス、ドイツ、トルコ、フランス、チリ、イタリアの音楽祭で、自作品が演奏される。

今後のスケジュール

第10回 2013年 2/27(水) 10:00 ~ 12:30 インヴェンション第10番・シンフォニア第10番

参加ご予約・お問い合わせは・・・

カワイ名古屋

〒460-0003 名古屋市中区錦3-15-15

Tel 052-962-3939 Fax 052-972-6427

地下鉄名城線・東山線
「栄」駅下車 3番出口より
徒歩1分



中村洋子アナリーゼ講座 お申込み書

2012年10月31日(水) 10:00 ~ 12:30

お名前

お電話番号

ご住所 〒

当てはまるものに をつけてください

カワイ講師・音研会・楽譜会員(会員番号)

)・Miyoshiネット・JPTA・PTNA・ショパン協会・一般